

平成26年3月27日
東北電力株式会社

東通原子力発電所における耐震工事の開始について

当社は、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震を含めた最新知見を考慮し、東通原子力発電所の基準地震動 S_s を現在の450ガルから600ガル規模へ見直すこととしました。また、この基準地震動 S_s の見直しを踏まえて、各施設の耐震性について詳細な評価を行いながら、耐震性の向上を図るため耐震工事にも取り組むこととしておりました。

(平成26年1月30日お知らせ済)

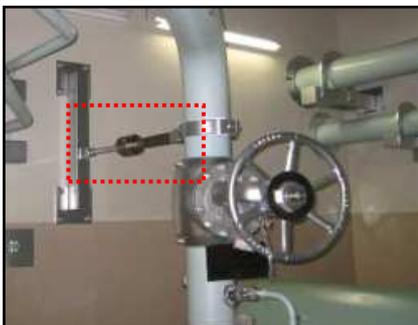
現在、600ガル規模の地震動に対する各施設の耐震工事の必要性を検討中ではありますが、これまでの検討状況を踏まえ、更なる耐震性向上が必要と判断した配管について、3月28日より、サポートの追加や強化による耐震工事を開始することといたしました。

引き続き各施設の工事の必要性を検討し、更なる耐震性向上が必要と判断した設備等については、順次工事を実施してまいります。

東通原子力発電所では、これまでも、自主的に設備の耐震裕度向上工事を実施するなど耐震安全性の向上に努めてまいりましたが、今回の耐震工事も着実に進め、更なる安全性の向上を図ってまいります。

以上

施工例



サポートの追加



サポートの強化